

実験医学

増刊

2017年
Vol.35 No.20

広告掲載
のご案内

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、実験医学増刊『Productive Agingを実現する老化・寿命研究の最先端(仮題)』を右記内容にて発行いたします。つきましては、貴社の優秀な機器・試薬・書籍等の広告をぜひご掲載いただきたく、お願い申し上げます。ご出稿の特典として、羊土社ホームページに広告掲載会社のリストが掲載され、御社のホームページとリンクされますので、ぜひご覧ください。

敬具

広告掲載料金

| 掲載面 | 刷色 | スペース | 掲載料金 |
|-------------|----------|------|---------|
| 表紙4 | 4色 | 1P | 300,000 |
| 表紙3 | 4色 | 1P | 200,000 |
| | 1色 | 1P | 150,000 |
| 表紙2 | 4色 | 1P | 250,000 |
| | 1色 | 1P | 170,000 |
| 中付 (記事中) | 4色 | 1P | 150,000 |
| | 1色 | 1P | 110,000 |
| 後付 | 4色 | 1P | 150,000 |
| | 4色(ブリード) | 1P | 165,000 |
| | 1色 | 1P | 90,000 |
| | 1色 | 1/2P | 55,000 |
| 差込 | | 1枚 | 200,000 |

写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます。
価格には、消費税は含まれておりません。
ご掲載の頁をご指定される場合は、一割増の料金を申し受けます。

ご掲載の頁をご指定される場合、各箇所に1頁まで(先着1社)とさせていただきます。

発行概要

発行部数 : 8,000部
発行日 : 2017年12月5日(火) 予定
広告申込概要 B5判オフセット印刷
申込締切日.....2017年10月25日(水)
原稿締切日.....2017年11月1日(水)
日程は変更になる場合がございます
広告の掲載内容を確認させていただく場合がございます

[モノクロ広告] データ

1頁天地 220 mm × 左右 150 mm
1/2頁天地 105 mm × 左右 150 mm

[カラー広告] データ

1頁天地 220 mm × 左右 150 mm
ブリード版天地 257 mm × 左右 182 mm
表紙4天地 192 mm × 左右 150 mm
表紙4ブリード天地 202 mm × 左右 160 mm

入稿形式(データの場合): Adobe Illustrator
使用したOSとソフトのバージョンをご明記下さい。
データは必ずアウトライン化して下さい

【発行元】株式会社 羊土社

〒101 0052
東京都千代田区神田小川町 2 5 1
TEL 03 5282 1211 FAX 03 5282-1212
URL <http://www.yodosha.co.jp/>

【広告総代理店】株式会社 エー・イー企画

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4
岩波書店一ツ橋別館4F
TEL 03 3230 2744 FAX 03 3230 2479
E mail: adinfo@aeplan.co.jp

広告掲載申込書

年 月 日

下記の通り、実験医学増刊『Productive Agingを実現する老化・寿命研究の最先端(仮題)』に広告掲載致します。

貴社名: _____ TEL: _____ FAX: _____

所在地: 〒 _____

担当者名: _____ 所属 _____ E-mail: _____

掲載場所: _____ 頁/枚 _____ 掲載料金: _____

支払方法: _____ 支払日: _____

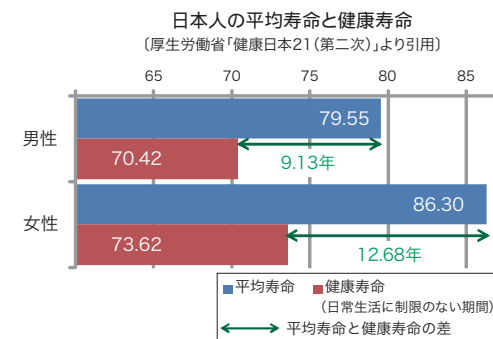
Productive Agingを実現する 老化・寿命研究の最先端(仮題)

編集: 今井眞一郎(ワシントン大学), 吉野純(ワシントン大学), 鍋島陽一(先端医療振興財団)

本特集号の概要と企画背景

世界的に社会の高齢化が深刻な問題となりつつある現在、老化・寿命研究が大きく進展しています。なかでも、健康で活動的である期間(健康寿命)をより延伸させること、“Productive Aging”が強く求められており、厚生労働省の推進する「健康日本21(第二次)」においても、「健康寿命の延伸」が目標の一つに据えられています(右下図)。

日本における老化研究はこれまで、加齢にともない発症する疾患(メタボリックシンドローム, 認知症, 骨粗鬆症など)の研究を中心に進展してきました。一方で上記のようなProductive Agingを実現するには、「そもそもヒトはどのように老いるのか」という根本的な疑問を解明する、老化・寿命に対する基盤的な研究を進める必要があります。そこで本書では、そのような基盤的な研究の最新情勢を紹介するとともに、そのような研究が社会に与えるインパクトを考えるため、海外研究者のインタビュー記事や、メディア、経済、政策など各視点からの考察を交え研究の意義を考察します。今後の日本の研究と社会を左右する一大テーマを総力特集いたします。ぜひご協賛のほどお願い申し上げます。



1 AMEDでも今年度より研究プロジェクトが立ち上がるなど
科学界・産業界の大きな注目を集めるテーマです!

2 がん, 幹細胞, 代謝をはじめとする, 生命科学・基礎医学の
幅広い層で注目必至の話題です!

3 ConBio2017(12/6~9)をはじめとする多数の学会にて販売する予定です!

本書の
注目ポイント

本書に関連する研究技術・キーワード

- ◆代謝・栄養 ◆幹細胞 ◆細胞老化と個体老化 ◆酸化ストレス
- ◆モデル動物 ◆老化方法論(食品・薬剤・運動など) ◆老年医学・医療
- ◆腸内細菌叢 ◆老化の血液因子 ◆サーチュイン ◆脳科学 ◆医工学
- ◆バイオマーカー ◆医療経済学 …など

▶ 本書の詳細な内容は、裏面をご覧ください



さまざまな分野の研究者に御社の優れた製品をアピールするチャンスとして、ぜひご活用ください!

Productive Agingを実現する 老化・寿命研究の最先端 題

編集：今井眞一郎

(ワシントン大学)

吉野純

(ワシントン大学)

鍋島陽一

(先端医療振興財団)

第2章

世界における老化・寿命研究と医療の現在

1) 70年代以降の老化研究の進展

Jamie Nicole 木村郁夫 (東京農工大)
Adam Antebi (マックス・プランク老化生

成田匡志 (英国がん研究所)

吉野純 (Wash

3) 老化研究の最先端

に の で活 する研究者の の を します

北野宏明

Amy Wang 石川

(京都府立医科大学)

鍋島陽一 (先

コンピュータサイエンス研究所)

Jan M. van

Leonard P. C

Matt Kaeblerlein (

今井

先端医療振興財団)

柳澤勝彦 (川島

樋口 晴 (早稲田大学ス

伊藤部 達

erente (マサチューセツ

iversity of Was

Washington Un

瀬川茂子 (朝日新聞社)

清家 篤 (慶應義塾大学商学部)

(東北大学加齢医学研究所)

科学省原 克彦 (文部科学省ライフサイエンス課)

京大 高橋 誠 (立命館大学大学院社会学研究科

大学)

ersity School of Medicine)

続刊予定